

出展リスト (作品・資料名/分類/年代/ほか)

◆バレエ・リュス・ド・モンテカルロ 公式プログラム 表紙: アンドレ・ドラ  
(プログラム [PRBR-MC-OF-13] / 1934年 / マースティンプレス社、ニューヨーク / パリセロナ、リセウ大劇場)  
Programme Official des Ballet Russe de Monte Carlo. Cover design by Drain, Andre / 1934 / Marstin Press, NY / 30.5×22.7cm (PRBR-MC-OF-13)

◆バレエ・リュス・ド・モンテカルロ 公式プログラム 表紙: シモン・リッシム 「カルナヴァル」  
(プログラム [PRBR-MC-OF-14] / 1934年 / バリ、シャンゼリゼ劇場)  
Programme Official des Ballet Russe de Monte Carlo. Ballets Russes Direction W. De Basil. Cover Design: Lissim, Simon / 1934 / Theatre Des Champs- Elysés, Paris / 31.7×24.4cm (PRBR-MC-OF-14)

◆バレエ・リュス・ド・モンテカルロ 公式プログラム 表紙: サルバトーレ・ダリ  
(プログラム [PRBR-MC-OF-46] / 1941年 / アメリカ)  
Programme Official des Ballet Russe de Monte Carlo. Cover design by Dali, Salvatore / 1941 / Rudolf Orthwine Corporation, U.S.A / 31.0×23.3cm (PRBR-MC-OF-46)

◆バレエ・リュス 公式プログラム 表紙: パブロ・ピカソによる「バラード」の衣装デザイン  
(プログラム [PRBR-OF-12] / 1919年 / ロンドン、エンバイヤ劇場)  
Programme Official des Ballets Russes, Cover design: Picasso, Pablo for costume of "Parade" / Empire Theatre, London / 1919 / 24.5×18.4cm (PRBR-OF-12)

◆バレエ・スエドワ 公式プログラム 表紙: Jupp, Wierti  
(プログラム [PR-164] / 1924年)  
Les Ballets Suedois / Cover Design: Jupp, Wierti / 1924 / 31.9×24.0cm (PR-164)

◆「ジゼル」を踊るカルロッタ・グリジ  
(プリント [AP-177] / 1840年代 / パリ)  
Madmoiselle Grisi, Corlotta dans "Giselle" / 1840's / Paris / 29.5×22.0cm (AP-177)

◆「ラ・シルフィード」を踊るマリー・タリオーニ  
(プリント 手彩色 [AP-216] / 1845年9月8日 / ロンドン)  
Taglioni, Mary in "La Sylphide" / 1845.9.8 / London / 48.3×31.5cm (AP-216)

◆ワツラフ・ニジンスキー(アルミードの奴隷)とアンナ・バヴロワ(「アルミード」)が踊る  
「アルミードの館」の記事  
(プリント 手彩色 [AP-224] / 1909年 / フランス、帝室マリンスキー劇場)  
M. Nijinsky, Waslaw and Mlle Pavlova, Anna in "Le Pavillon d'Armide", Printed in color from "Theatre" / 1909 / Prima Ba l Ierina du Théâtre Impérial Marie(Pétersbourg) / 41.8×34.1cm (AP-224)

◆新作「遊戯」を踊るワツラフ・ニジンスキー、タマーラ・カルサヴィナ、リュドミラ・ショラー  
(プリント [AP-227] / 1913年 / フランス)  
M. Nijinsky, Watslav, Mlle Karsavina, Tamara, Mlle Schollar, Ludmilla dans le Ballet nouveau "Jeux" / 1913 / 49.0×39.4cm (AP-227)

◆ポール・ドラロッシュによるバレエ・リュスダンサーのデザイン画  
(プリント [AP-232] / 191?年)  
Design of Les Ballets Russes dancers by Paul. C Delaroché / 191? / 51.4×41.2cm (AP-232)

◆ワツラフ・ニジンスキーが出演したクロード・ドビュッシー音楽による「牧神の午後」  
(プリント 手彩色 [AP-237] / 1913年2月7日 / ロンドン、コヴェント・ガーデン劇場)  
"L'Après-Midi d'un Faune" Showing M. Nijinsky music by Claude Debussy / 1913.2.17 / Covent Garden, London / 46.1×38.1cm (AP-237)

◆舞台上のオーギュスト・ヴェストリス (プリント [AP-247] / 1781年4月2日)  
Vestris, Augu ste on stage / 1781.4.2 / 46.0×41.0cm (AP-247)

◆カルロッタ・グリジ直筆の手紙 署名入り (手紙 [AU-52] / 1800年代)  
Letter of Grisi, Corlotta with her signature / 1800's / 13.4×10.4cm (AU-52)

◆ファニー・エルスラー直筆の手紙 署名入り (手紙 [AU-68] / 1800年代)  
Letter of Elssler, Fanny with her signature / 1800's / 16.7×13.4cm (AU-68)

◆マリー・タリオーニ直筆の手紙 署名入り (手紙 [AU-71] / 1831年)  
Letter of Taglioni, Mary with her signature / 1831 / 25.1×19.7cm (AU-71)

◆「ジゼル〜あるいは妖精たち〜」を含むポスター  
(ポスター [PO-22] / 1846年2月28日 / 英国、ロイヤル・マンチェスター劇場)  
Poster of "Giselle or Willis" performed by Florra Fabbri / 1846.2.28 / Theatre Royal Manchester, England / 48.4×24.2cm (PO-22)

次回予告

薄井憲二バレエ・コレクション企画展

タマーラ・カルサヴィナ  
～20年間の輝き～

(期間: 2011/1/29 (Sat)～2011/2/20 (Sun) 於: 2階共通ロビー内「ポック」)

◎企画・監修 芳賀直子 (はが・なおこ / 舞踊研究家 薄井憲二バレエ・コレクション・キュレーター)  
Naoko Haga (Curator of Kenji Usui Ballet Collection)

兵庫県立芸術文化センター 薄井憲二バレエ・コレクション 担当

〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22 tel: 0798-68-0223 (代表) fax: 0798-68-0212

禁転載・複製・引用



Kenji Usui Ballet Collection

薄井憲二2010

バレエ・コレクション企画展

バレエって何?

～そのあゆみ～

2010/8/5 (Thu.)～2010/9/5 (Sun.)

「バレエ」と聞いて思い出すイメージはどのようなものでしょうか?

つま先で踊るためのトゥシューズ、白くふわふわしたチュチュ、足を180度に広げる独特の動きを思い出すひとも多いかもしれません。

今回の展示はそんなバレエがどのようにして始まり、発展したのかそのあゆみをご紹介します。

また、その独特の足の動きを実際に体験するコーナーも作りました。5つのポジションはバレエの基礎でありつづけています。

見て、読んで、実際に試して、「バレエ」に触れてみてください!

Hyogo Performing Arts Center

# バレエはイタリアで生まれ、フランスで成熟し、ロシアで完成した

ルネサンス期に礼儀作法から始まった踊りは約600年かけて現在のバレエになりました。

イタリアからフランス王室に嫁いできたカトリーヌ・ド・メディシスがもってきたダンスはカトリーヌが主催したパーティーで初めて「バレエ」という言葉が使われました。

## “踊る王” “太陽王”



～ルイ14世と5つのポジション～

17世紀のフランス王

ルイ14世は8

歳で初め

てのバ

レエ

僕 私のバレエ・トリビュ

を踊り、次々と作品を生み出しました。王が“太陽王”と呼ばれたのもバレエ『夜のバレエ』の中で太陽の役を演じたからでした。そして、バレエの5つの足のポジション(=パ)がピエール・ボーシャンによって決められたのもこの時でした。太って踊れなくなった王はバレエ学校をつくり、現在のパリオペラ座の元となっています。

## “ロマンティック・バレエ”



19世紀

にロマン

主義文

学の影響

を受けて

『ラ・シルフィー

ド』や『ジゼル』などの“ロマン

ティック・バレエ”作品がうま

れました。この世ではない場所や遠い国を舞台としたものが多く、登場する妖精などを表現するために白いふわふわとしたひざ下丈のロマンティック・チュチュとつま先で立つトゥの技術とトゥ・シューズが生まれました。

女性のダンサー(=バレリーナ)は職業としても成功し、スターがたくさん生まれました。

しかし、女性ばかりが活躍したために観客は男性ばかりになり、作品よりもダンサーをみることが目的になり、良い作品が生まれなくなりました。

## “チャイコフスキー3大バレエ”

同じ頃、ロシアでは国がバレエに力を入れていました。大作曲家チャイコフスキーと振付家マリウス・プティパの出会いの結果“チャイコフスキー3大バレエ”=『白鳥の湖』『眠れる森の美女』『くるみ割り人形』が生まれました。この頃、ダンサーの技術も進歩し、大きな

跳躍や回転ができるようになり、足の動きが自由になるひざ上の短いクラシック・チュチュが生まれました。

跳躍や回転ができるようになり、足の動きが自由になるひざ上の短いクラシック・チュチュが生まれました。

跳躍や回転ができるようになり、足の動きが自由になるひざ上の短いクラシック・チュチュが生まれました。

跳躍や回転ができるようになり、足の動きが自由になるひざ上の短いクラシック・チュチュが生まれました。

跳躍や回転ができるようになり、足の動きが自由になるひざ上の短いクラシック・チュチュが生まれました。

跳躍や回転ができるようになり、足の動きが自由になるひざ上の短いクラシック・チュチュが生まれました。

跳躍や回転ができるようになり、足の動きが自由になるひざ上の短いクラシック・チュチュが生まれました。



## “バレエ・リュス”から始まる今の「バレエ」

20世紀になって、ディアギレフが率いた“バレエ・リュス”(=ロシア・バレエ団)がロシアの優れた作品とダンサーを連れてフランスを訪れ、バレエを生き返らせました。バレエはもう一度「芸術」として見られるようになったのです。私たちが今の形でバレエを見ることができるのは彼らのおかげです。この時バレエには一流の芸術家が参加し、今の言葉でいう「コラボレーション」は当然のことでした。バレエ・リュス解散後もダリ、デュフィなど多くの芸術家がバレエに参加しました。そして元バレエ・リュスのダンサー達はバレエがまだ定着していなかったアメリカやオーストラリア、カナダといった国々に今のバレエの基礎を作りました。

